

新年のごあいさつ

仙北市長 田口 知明

仙北市民の皆さま、あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

本年令和5年は十二支では卯年ですが、十干十二支では癸卯（みづのと・う）とのことで、どのような年になるのか調べてみますと、これまでの努力が実を結び、勢い良く成長し飛躍する年になるとの記載がありました。仙北市にとりましてもうサギのごとく大きく飛躍できる年になることを願っておりますし、そうなるために私も頑張ります。

さて昨年を振り返りますと、ここ数年と同様に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた一年でしたが、ワクチン接種および感染防止策による感染者数の減少や、比較的重症化リスクが低いとされるオミクロン株が新型コロナウイルス感染症の主流となったことから、角館祭りのやま行事をはじめ、第50回たぎわ湖・龍神祭りや第35回田沢湖マラソン、北緯40度秋田100キロチャレンジマラソン第30回記念大会、生保内節全国大会など、コロナ禍で2年間中止や延期を余儀なくされていた催事や大会を無事に開催することが

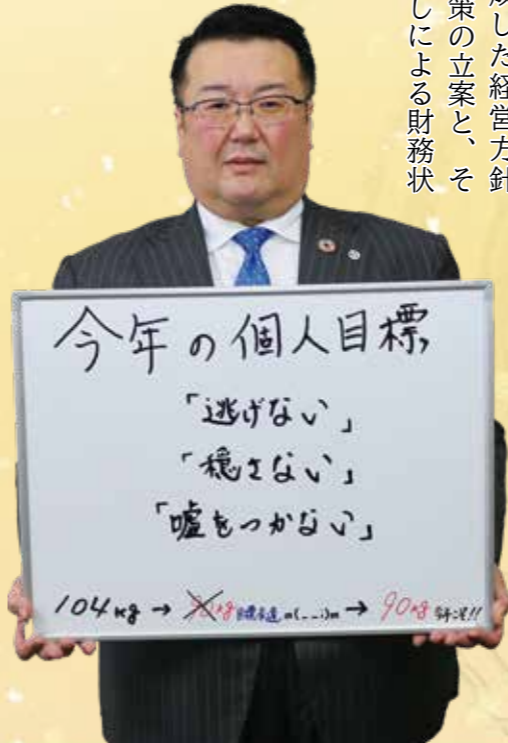
できました。

しかしながら感染拡大防止の観点から制約を設けての開催だったために、本来の参加者数や観光客数には遠く及ばなかったものの、久々にたくさんの観光客の方々を市内各地でお見受けしましたので、徐々にではありますが全国有数の観光地である仙北市の復活を感じずにはいられませんでした。

このように希望を感じる一方で、私たちは大きな困難にも直面し、現在もその最中にあります。それは過去に経験のない程急激に進行した歴史的な円安と、昨年2月にはじまったロシアのウクライナ侵攻により、電気やガソリンなどのエネルギー、また輸入品比率の高い食品や肥料、飼料などの価格が高騰し、市内の観光産業や飲食業・農業・商業など様々な産業がコスト高による大きなダメージを受けております。仙北市は今後も地元企業や農業従事者の皆さまの存続と発展のための支援を全力で行ってまいります。また同時に市民の皆さまの日常生活においても、光熱費や食料品の高騰などで支出が大きくかさんでおりますので、生活支援に直結する施策を今後もしっかり実施してまいります。

昨年8月には県内で降り続いた大雨により、県北部の北秋田市や大館市、五城目町、三種町などで土砂災害や河川の氾濫があり、多数の家屋が床上浸水などの被害を受けたほか、農作物への被害も甚大となりました。秋田内陸縦貫鉄道は複数箇所で土砂災害に見舞われ、阿仁合駅と鷹ノ巣駅の間が不通となり、バスによる代行輸送が行われ、昨年12月12日に全線復旧したばかりです。仙北市でも田んぼや畑、魚の養殖場で冠水などの被害がありました。数十年前に一度と称される豪雨や豪雪災害に毎年直面していることを真摯に受け止め、「いざ」というとき市民の皆さまの命と暮らしを守るための様々な備えを行ってまいります。

現在、私は市長に就任して2年目を迎えておりますが、今年は幸福度を全国NO.1という市政理念を実現するための具体的な取り組みとして、昨年実施した市民意識調査や市役所内で行った事務事業評価・施策評価・各部署で作成した経営方針シートに基づいた施策の立案と、それに伴う予算の見直しによる財務状況の改善や、市民の皆さまの声を今まで以上に聞きし、困りごとの解決や実施して喜んでいただけのような、結果を重視した施策を推進してまいります。



最後になりましたが、私の今年の個人目標は「逃げない」「隠さない」「嘘をつかない」です。これは私が尊敬し目指すべき理想の市長としてあこがれている、前兵庫県豊岡市長の中貝宗治さんが危機管理の鉄則として掲げている「逃げるな、隠すな、嘘をつくな」という言葉を、私の決意として使わせていただいたものです。仙北市長として誠実に、正直に、前向きに、職責を全うしていく覚悟です。どうか市民の皆さまには本年も、市政運営へのご理解とご協力をいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

今年の個人目標
「逃げない」
「隠さない」
「嘘をつかない」
104kg → ~~100kg~~ → 90kg 減量!!

かくのだてフィルムコミッション

Kakunodate Film Commission

設立20周年を迎えました 仙北市の魅力を 全国に発信

かくのだてフィルムコミッション
(仙北市観光課内) ☎43-3352
<https://kakunodate-fc.jp/>

<活動の主な足跡>

- **2013年** **テレビ**
・みちのく 麺食い記者 宮沢賢一郎 3
高嶋政宏、渡辺いっけい
- **テレビ**
・捜査検事 近松茂道 14
高橋英樹、安達祐実
- **2014年** **WEB**
・ヤフー台湾版特設サイト
台湾ショートムービー【秋田編】
・秋田ゆかりの映画祭
- **2015年** **テレビ**
・紅葉の絶景いい旅スペシャル
グッチ裕三、氷川きよし
- **2016年** **CM** **WEB**
・Galaxy S7 edge
どんな君も逃さない
山崎賢人
- **2017年** **映画**
・君から目が離せない
秋沢健太郎、嶋崎朋子
- **2018年** **テレビ**
・いい旅・夢気分
雛形あきこ、祥子
- **2019年** **映画**
・みちのく 秋田赤い靴の女の子
壇蜜、アナンダ・ジェイコブス、永島敏行
- **2020年** **映画**
・リフレインの鼓動
工藤綾乃、大滝樹、菅井玲
- **2021年** **テレビ**
・旅屋おかえり 安藤サクラ
- **2022年** **テレビ**
・遠くへ行きたい 田中要次



時代に寄り添う
「かくのだてフィルムコミッション」
特定非営利活動法人
ジャパン・フィルムコミッション
理事長 泉谷昇

かくのだてフィルムコミッション設立20周年おめでとうございます。20年経っても撮影依頼があるのは、関係者の皆さまによる地道な誘致活動、地域との連携による支援体制、そして、なんとこちらも仙北市でしか撮れない魅力的なロケーションを守りながら磨き続けている結果とされています。フィルムコミッションの支援対象は劇場公開作品か

「かくのだてフィルムコミッション」は、2022年12月25日で設立20周年を迎えることができました。これもひとえに、地域の方々のご支援と、制作者の皆さまが仙北市を撮影地として選んでくださったからこそ、深く感謝申し上げます。仙北市の美しい自然や景観、守り続けて来た歴史や文化、伝統を、映像を通じて広く発信することができ、この20年間で支援した作品は500以上にのぼります。ロケ地と



設立20周年を迎えて
かくのだてフィルムコミッション
会長 坂本洋

して国内外からの評価と実績は高いものがあると実感しております。秋田県初のフィルムコミッションとして設立された当初は、期待と同時に戸惑いを感じたことも多々ありましたが、少しずつ活動が広がりを見せ、県内のネットワーク構築に繋げることができました。2013年のTVドラマ「みちのく 麺食い記者宮沢賢一郎3」では、連日のロケで、のべ260人以上のエキストラにご協力いただいたり、2016